

R6.5.13 全校朝会

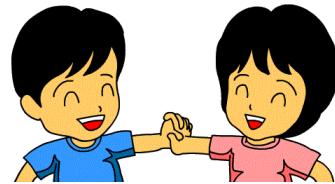
「いじめ・いのちについて考える日」

「いのち」の大切さの学びを深めるため、自分を大切にする心と他者への思いやりを育めるよう、「いのち・いじめについて考える日」の講話を、本日の全校朝会で児童におこないました。

さて、校内にはいろいろな掲示物があります。みなさんは職員室横の階段の1階から2階に上がる途中にポスターが貼ってあるのを知っていますか？

そのポスターの1枚には、大きなハート模様のデザインの絵に「人の心は壊れやすい」と書かれています。見たことがありますか？ そして、そのポスターには小学生や中学生の標語の作品が書かれています。少し読んでみます。

君の勇気が いじめをとめる (低学年の作品)
かげでしか いえない言葉 いじめやで (高学年の作品)
うけ入れる ちがいがあって あたり前 (高学年の作品)



どうですか？ 作品の意味はわかりますよね？ いじめは絶対にダメなことは、神津のみんなはよく知っていますね。

また、スマホやパソコンを使って悪口をSNSに書き込んだり、一部の人を排除したりすることもいじめです。

他の1枚のポスターにはこんな作品も書いてあります。

「どうしよう」 あとから消しても もうおそい (低学年の作品)

インターネット上に流れた言葉はもう完全に消すことはできません。後悔してもすでに遅い。言葉はすごい力を持っています。言葉は、たった一言、使い方次第で相手の心を「ぐさつ」と刺す暴力になります。そして、人の心は壊れやすいのです。

今日は、「いのちといじめについて考える日」です。相手を傷つける言葉ではなく、思いやりのある、いたわりの言葉が自然と出るよう心がけてほしいと思います。

では、どうしてもつらくなったときはどうすればいいのでしょうか。ポスターにはこんな作品も書かれてありました。

ひとりじゃない あなたの味方は そばにいる (中学生の作品)

一人で悩まず、大人や周りの人、仲間に助けを求めることが大切です。「いのち」が1番です。苦しくなったら相談してください。そして、周りの人は見て見ぬふりをせず、助けてあげてください。そんな思いやりのある温かい学校をみんなで作っていきましょう。

また、階段のポスターを見ておいてくださいね。